

## 富山地方気象台長からのご挨拶

富山地方気象台のホームページをご覧ください、ありがとうございます。令和3年4月1日に台長に就任しました石原洋（いしはら ひろし）です。

さて、最近の県内の自然災害としてみなさんの記憶に新しいのは1月の大雪ではないでしょうか。1月7日に低気圧が発達しながら日本海を進んだあと、10日にかけて強い冬型の気圧配置が続き、県内各地で大雪となりました。亡くなられた方、負傷された方が合わせて約100人に達したほか、鉄道の運休・遅延、高速道路や国道の通行止めなど交通機関に大きな影響が出ました。また、停電の発生や農業施設の被害もありました。

一方、2月以降の気温の推移をみると、富山市の2月の月平均気温は平年よりかなり高くなりました。3月に入ってから気温の高い状況は続き、さくらの開花及び満開はそれぞれ3月24日、同28日とこれまでで最も早くなりました。

令和2年は日本への台風の上陸はありませんでしたが、令和元年の台風第19号では県東部を中心に大雨となり、アメダス朝日では日降水量として230.0mmを観測し、一日に降った雨の量としては、過去最大となりました。

また、富山県は地震の発生が全国的にみて少ない県ですが、周囲の県ではここ十数年の間に被害を伴う地震も起こっています。令和2年3月13日に能登半島を震源とした地震が発生し、石川県では震度5強を、県内でも7年ぶりに震度4を観測しました。県内には複数の活断層の存在が知られており地震や津波に対する備えも大切です。

富山県は山・海など自然に恵まれた土地です。自然は私たちに多くの恵みを与えてくれる一方で、時として大きな災害をもたらすこともあります。富山地方気象台では、「自然災害から身を守るための防災気象情報」を発表しています。地域全体の防災力をよりいっそう向上していくために、県内の防災関係機関と連携するとともに、地域に根ざした気象台として、きめ細やかな取り組みを進めてまいります。



令和3年4月

富山地方気象台長 石原 洋